

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科					
科目名称	観察実習（事前事後指導含む）					授業形態	実習			
科目コード	750107	単位数	1単位	配当学年	3	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○	
担当教員名	藤本 朋美								ICT活 用	○
授業概要	観察実習（幼）は、実際に幼稚園を訪問し観察を通して、一人一人の子ども、教師と子どもとのかかわり、子ども相互の関係、教師の援助のあり方等について理解を深めることを目的としています。 観察実習は、保幼ビークの学生において、必要な基礎的実務経験の修得をめざす第一段階の実習として位置づけられます。具体的には、幼稚園を訪問し、それぞれ所属の現場教諭指導者のもと、子ども達の姿を観察することによって、幼児について理解を深めるとともに、幼稚園現場への理解を深めます。 【汎用性能力の育成】【態度・志向性の育成】 観察実習前には、事前指導を行います。観察実習の意義や実習内容、保育参観の仕方や園児の観察の仕方、記録の取り方について学習します。また必要な準備物、参加心得などについても確認します。 【知識・技能の育成】 実習後には、事後指導を行います。観察実習で得た知見をもとに、保育・幼児教育の基礎的・基本的事項の重要性について考え、今後の教育実習に向けての学習の方向性を焦点化します。									
関連する科目	履修後に「保育実習」「教育実習（幼）」を受講することが望ましい。									
授業の進め方 と方法	事前指導は、講義および演習形式の授業を行います。実習の心構えや身だしなみ、マナーを確認し、実習日誌の書き方を学びます。観察実習は、5日間、実際に幼稚園を訪問して実施します。毎日、観察した内容を実習日誌に記載し、考察を行います。 事後指導は、グループディスカッション等にて実習の学びを深めるとともに、自らの学びや考えをレポートにて表現します。									
授業計画 【第1回】	事前指導① 観察実習の心構え(1) ・受講資格確認 ・スケジュール確認 ・身だしなみ ・名札の作り方									
授業計画 【第2回】	事前指導② 写真撮影 ・実習園訪問アポの取り方 ・実習日誌の書き方（先輩の日誌から）									
授業計画 【第3回】	事前指導③ 観察実習の心構え(1)と実習日誌の書き方(1) ・観察実習の心構え ・実習日誌の書き方（観察や記録の方法）									
授業計画 【第4回】	事前指導④ 実習日誌の書き方(2) ・実習日誌の書き方（観察や記録の方法）									
授業計画 【第5回】	事前指導⑤ 観察実習の心構え(2) ・実習日誌事前記入事項確認 ・出勤簿記入 ・身だしなみ（頭髪、爪、等）最終確認									
授業計画 【第6回】	事後指導① 実習の振り返り(1) ・実習の反省 ・礼状の作成 ・振り返りシート配付									
授業計画 【第7回】	事後指導② 実習の振り返り(2) ・実践討議									
授業計画 【第8回】	事後指導③ 実習の振り返り(3) ・実践討議									
授業計画 【第9回】										
授業計画 【第10回】										

授業計画 【第11回】	
授業計画 【第12回】	
授業計画 【第13回】	
授業計画 【第14回】	
授業計画 【第15回】	
授業の到達目標	1. 観察実習に参加する際の心構えほか、実習日誌の記録方法を習得することができる。 【知識・技能の育成】 2. 子どもに対する理解を深めることができる。 【汎用的技能の育成】 【態度・志向性の育成】 3. 幼稚園教諭の仕事の内容と役割を理解することができる。 【汎用的技能の育成】 【態度・志向性の育成】 4. 保育実習・幼稚園教育実習に向けた自身の課題を把握することができる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)
授業時間外学習【予習】	観察実習に向けて、次の事項に積極的に取り組んでください。 1. 子どもの発達段階について自主学習に取り組む。 2. 観察実習に向けて、実習園について情報収集を行う。 3. 実習日誌の記録や自身の保育技術向上のため、課外授業や自主学習に取り組む。
授業時間外学習【復習】	実習後には、観察実習および事後指導での学びを振り返り、自身の課題を明確にします。自身の課題の克服のためにどのような取り組みが必要かを考え、保育実習・教育実習にむけて実行してください。
課題に対する フィードバック	実習日誌、レポートは評価後、返却し解説をします。
評価方法・基準	学習への意欲的な取り組み 40点 ※原則として授業への遅刻・欠席、提出物の未提出（期限厳守）は認めません。 実習日誌 30点 レポート 30点
テキスト	『幼稚園教育要領解説』文部科学省（2017）フレーベル館、（240円＋税） 「実習の手引き」南九州大学
参考書	必要に応じて図書、資料を紹介します。
備考	

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科		
科目名称	観察実習（事前事後指導含む）						授業形態		演習	
科目コード	750107	単位数	1単位	配当学年	3	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	河野 康男、後藤 古道、渡邊 光浩								ICT活 用	○
授業概要	この授業では、教育実習の事前指導と事後指導の2つに分けて行います。事前指導では、教育実習のねらいが達成するために必要な態度や知識そして技能の習得をねらいです。事後指導では、教育実習を通して学んだことの省察を通して、教員として必要な自己課題を明確にするとともに、その課題解決のための学修意欲を高めることがねらいです。 事前指導では、「教育実習の意義と目的」「実習の内容と方法」「実習日誌の書き方」「記録の取り方」「指導計画及び学習指導案の作成と模擬授業」などについて学びます。「教育実習CBT」を活用して、教員として身につけておくべき基礎的知識や指導法を学びます。事後指導では、「教育実習の省察」「教育実習報告」などについて学とともに、「教育実習CBT」を活用して自己の教師として必要な資質能力の変容を確認します。 授業者は、小学校教諭・教頭として教育実践及び教育実習生の指導を行った経験があります。この経験を通して得た知見を生かして、学校の教育的な営みや教育現場に臨むために必要な心構えや資質等の解説・指導を行って、本授業での学びが深まるようにします。									
関連する科目	観察実習									
授業の進め方 と方法	課題解決のためのグループワークを用いた授業展開を多く取り入れます。また、教育実習を経験をした学生や現職の小学校教員を交えての協議を取り入れて、より具体的に学べるようにします。									
授業計画 【第1回】	1. 教育実習の意義及び目的及び教育実習の内容について									
授業計画 【第2回】	2. 教育実習の具体的事項について									
授業計画 【第3回】	3. 教育実習中の姿勢・態度についてと教員に必要な資質能力の自己の実態把握①									
授業計画 【第4回】	4. 「道徳」の授業のねらいや授業構想									
授業計画 【第5回】	5. 「道徳」の指導案作成について									
授業計画 【第6回】	6. 「道徳」の指導案検討のためのグループワーク									
授業計画 【第7回】	7. 「算数」の授業のねらいや授業構想									
授業計画 【第8回】	8. 「算数」の指導案作成について									
授業計画 【第9回】	9. 「算数」の指導案検討のためのグループワーク									
授業計画 【第10回】	10. 「教育実習を充実させるために必要なこと」についてのグループワーク									

授業計画 【第11回】	11. 学習指導案作成（小集団グループ）算数-各自にて作成した指導案・模擬授業の検討 この授業については、複数回実施を予定します。
授業計画 【第12回】	12. 実習日誌の記入方法、記録の取り方など
授業計画 【第13回】	13. 教育実習の省察
授業計画 【第14回】	14. 教育実習報告会の準備と教員に必要な資質能力の自己の変容把握
授業計画 【第15回】	15. 教育実習報告会 教育実習の振り返りをして、その内容を次年度以降に教育実習に取り組む学生に報告します。
授業の到達目標	1 教育実習の目的と意義を理解する。 2 教育実習に対する心構えを身につける。 3 研究授業の学習指導案を作成することができる。 4 学習指導案に基づいた研究授業の準備、および授業を展開することができる。 5 教育実習の成果を具体的に報告できる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)
授業時間外学習【予習】	1 実習校の見学や自主実習等を行い、教職員・児童との交流を行うこと。 2 教師に必要な資質能力を高めるために、課題テストや自主学習に積極的に取り組むこと。
授業時間外学習【復習】	課題について熱心に取り組み、指摘された内容については修正を加えて仕上げること。
課題に対する フィードバック	小テスト後は、解説をします。
評価方法・基準	1 学習意欲（事前・事後学習） 10点 2 教育実習小テスト 10点 3 学習指導案・模擬授業 70点 4 実習後の報告 10点
テキスト	南九州大学子ども教育学科編『教育実習の手引き』 その他、必要に応じて資料を配布します。
参考書	必要に応じて図書、資料を紹介します。
備考	